次代をつくる群馬の経営者

若き経営者が次の時代を作る。目まぐるしく変わる経済情勢の中で、どんな発想で企業の成長を目指すのか。工作機械や金属加工、樹脂成形、環境分野の若手経営者４人に事業戦略などを聞いた。

小林機械

小林　良文社長

中古機械の展示場拡張

―中古の工作機械販売が好調ですね。

「中古の工作機械や工具を販売する大型展示場を２倍に拡張して稼働する。本社敷地内にある既存の展示場の隣に機械や工具の搬入を進めている。中古のマシニングセンターや旋盤、ワイヤ放電加工機など各種工作機械を展示する。２階には刃やバイスなどの工具類を置く。エレベーターを備えて気軽に立ち寄れるホームセンターのように中古機の敷居を下げたい」

「現在の展示場は工作機械や工具類が同じフロアに集まっているので、顧客が見学しやすいようにスペースを広くする。整備担当者を地元で10人ほど新規に雇用して社員は約40人になる予定だ」

―整備体制を強化する狙いは。

「安かろう悪かろうの中古機の時代は終わった。劣化した部品を更新して装置全体の機能を向上させる高い技能が必要だ。安価で品質の優れた機械を提供できれば、顧客である製造業の競争力向上にも役に立てる。既存の展示場には室温を20度C前後に保つ恒温室を設ける。熱変位によって機械や部品の精度が変化するため、温度を一定に保つことで整備の質向上につながっていく」

―新業態の構想は。

「業界では珍しい買い取り保証制度を準備している。中古機械は新品の半値から3分の1で導入できる。受注が安定していれば1年ほどで投資分を償却できるが、顧客は取引先の海外生産移管などで、その受注がいつなくなるか不安を抱えている。買い取り保証制度は顧客と個別に契約し、販売価格の一定の割合で再仕入れを約束する。そうすれば顧客は安心して投資できる。実現には充実した整備体制が欠かせない。経年劣化の場合は整備士が復元し、費用を抑えて再販できる。このほかにも機械のレンタル制度や展示場にある機械の時間貸しといった事業も考えている。機械の善しあしは、加工した部品で一目瞭然。これからも信頼を積み重ねていきたい」

【企業概要】1991年に小林社長が個人で創業。中古の工作機械や工具類の販売を手がける。国内最大級の展示場を持ち、機械商社などを中心に商品を販売する。年商は約30億円。（館林市）

ジュンコーポレイション

小板橋　義和社長

ガスインジェクション拡大

―強みを持つガスインジェクション成形の用途が広がっていますね。

「ガスインジェクションは樹脂成形の一種。製品の内部に窒素ガスを注入して製品の末端まで均一に同じ圧力をかけて成形する。余分なバリが少なく、変形しにくいため、寸法精度が良い。通常の射出成形の課題を解消した。低圧のため安価で工程も短い。世界一の技術力だと自負している。現時点の当社は3次部品メーカーのポジションだが、技術を武器に付加価値をつけて利益率を高めていきたい」

「自動車部品や環境製品、事務機など用途は幅広い。車用のドアグリップやペダルなど内部を空洞にして軽量化できる。銅などの金属を樹脂に変えたいという要望もある。それは、市場価格の変動に左右されにくくなるためだ。気体や液体が漏れないように継ぎ目のない長尺パイプを求める声も多く、溶接のいらない樹脂なら要求にも応えられる」

―新規顧客の開拓は。

「新たに1次部品会社から受注が決まった。さらに取引を増やしてパイプを太くしたい。これからも毎年1社ずつと試作段階の取引を開拓したい。単なる成形だけでなく、ピアノブラック調の加工など付加価値が大切だ。こうした外観の技術は、かつて多く手がけたOA機器で培ったものだ。溶融樹脂の流れが合流して表面に入る細い線（ウェルドライン）が発生しないヒートアンドクール製法も評価が高い。塗装不要の製法もあり、顧客とウィン―ウィンの関係を構築していく」

―今後の課題は。

「開発部門の育成であり、提案力が欠かせない。顧客が気づかない樹脂成形の方法や新用途の開発をどれだけ提案できるかが鍵だ」

―開発の取り組みは。

「自動車大手と次世代自動車分野で共同開発に乗り出している。潜在ニーズを感じ取ることに自信がある。新規開発を諦めかけた製品こそ当社にぜひ任せてほしい。先手、先手の提案を続け、日本発のモノづくりを広めたい。つぼみがたくさんあり、必ず花開かせたい。未来は明るい」

【企業概要】樹脂部品の射出成形メーカー。特にガスインジェクション成形に定評がある。自動車大手との共同研究にも力を入れている。（安中市）

ジー・ピー・ワン

石坂　浩一社長

エンジニアリング企業に転換

―単機能の焼却炉から発電や熱利用など新用途の開拓に熱心ですね。

「廃棄物の焼却炉メーカーとしてスタートし、燃焼のコア技術を生かして発電や温水利用など多様なニーズを掘り起こしている。例えば小規模農家に対しては家畜の排せつ物や木くずなどのバイオマス燃料を用いる温水ボイラを提案している。従来は、排せつ物は堆肥化して肥料として二次流通させているが、販路など売るための課題は多い。畜舎や園芸施設の暖房、温浴施設などに導入すれば、コスト低減につながる」

「さらに足元で引き合いが多いのはメタン発酵ガス化発電。大規模農家や大手外食チェーン向けに提案を強化している。日本に比べて欧州での取り組みが早かった。当社と欧州のプラントメーカー、日本の施工会社の3社で手を組み、国内の普及に向けた事業に乗り出した。自然エネルギーの固定価格買い取り保証制度（FIT）の対象になっているので、初期投資はかさむが早期の回収を期待できる。単純な焼却炉メーカーから総合エンジニアリング企業に転換する。14年にも第一弾の案件が動きだす」

―メタンガス化発酵発電の利点は。

「FITで1キロワットあたりの買い取り価格は40・95円と最も高い。国内に発電施設は少なく、欧州が先行している。ある企業は事業で大量に排出する食品残さをメタンガス発電に利用しようと検討している。当社が装置の輸入や技術サポート、申請などで側面支援する。本業だった焼却炉は将来を見すえれば縮小傾向にある。メタンガス発電を浸透させることで家畜のふん尿の臭いやゴミ問題などの解決につながるはずだ」

―今後の事業計画は。

「日本の文化としてメタンガス発電を広めたい。1基あたりの投資は約20億円と高価だが、FITと合わせて魅力を感じている企業は多い。年数件の受注を目指し、バイオマス資源を使った温水ボイラなどの研究開発も同時に進める。焼却炉メーカーから脱皮して、新たなエネルギービジネスに転換していく」

【企業概要】焼却炉メーカーに勤務していた石坂社長が2000年に28歳で起業。焼却炉を祖業に、バイオマス温水ボイラを手がけるほか蛍光灯のリサイクル事業を展開。今後はメタン発酵ガス化発電を軸に導入までの技術支援などエンジニアリング業への事業転換を目指す。（渋川市）

小花製作所

小花　弘樹社長

即日対応力が存在価値

―幅広い素材に適応した板金・製缶加工の強みは。

「ステンレスが全体の5割で鉄は3割、残りはアルミニウムなどが占める。業種は食品機械や製薬系のライン、鉄道車両用部品など多岐にわたり、多様なニーズに応えている。少量多品種の仕事に特化し、1品ごとに仕様が異なる部品加工が強みだ。年間100社との取引があり恒常的な取引先は40社ほど。さらに年4―5社の顧客開拓を目標に掲げている。技術が仕事を呼ぶとも言われているが、積極的な営業がなければ仕事は増えない」

―1品モノへのこだわりは。

「好不況の影響を受けにくい。取引先への依存度は1社あたり10%を超える顧客はない。溶接技術と板金・製缶を駆使して客先を広げたい。積極的に自社での営業をしているが、公益財団法人の群馬県産業支援機構を活用した新規取引先の開拓は有効な手だてだ。1社の力ではアポイントさえ入りにくい企業にも支援機構の協力によって窓口にたどり着ける。当社の優れた技術を知っていただくためにも公的機関を有効に活用していきたい。特に群馬は北関東自動車道をはじめとした高速道路網が発達しており、片道2時間から2時間半までのエリアを重点的に営業していく」

―海外拠点を活用した設計業務で成果が出ていますね。

「数年前から一部の設計や加工データの作成について作業をフィリピンの協力企業に委託している。日本とフィリピンの時差はわずか1時間。賃金は安いのでコスト低減につながるほかに、急な飛び込みの案件を海外に依頼することで顧客の要望に素早く応えられる。フィリピンの社員の技能も高い。現地の人員も増やしている」

―国内拠点の位置づけは。

「本社工場では板金加工を手がけ、伊勢崎市の宮子工場は製缶工程を担ってすみわけている。将来はより効率的に生産できるように本社工場への集約を検討している。当社は図面の作成から加工まで一貫生産できる。当日の発注に対して最短で即日か次の日には納品できるスピード感を持った対応力こそ、当社の存在価値になっている。シュート・ホッパー類の手間のかかる品物も即日納入が可能だ」

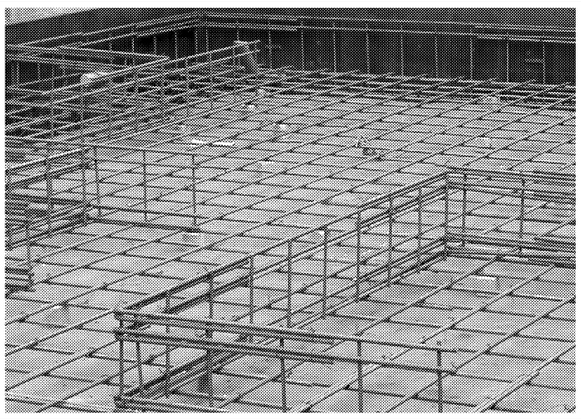
【企業概要】溶接技術や板金・製缶加工による多品種少量部品の加工に強みを持つ。近年はフィリピンの企業を活用して設計作業の一部を委託。コスト低減のほか、受注から納入までの期間短縮につなげている。（玉村町）

ロボットの古川

新田工場▶
〒370-0303
群馬県太田市
新田小金井町320-20
（新田東部工業団地）
TEL.0276−20−9501㈹
FAX.0276−20−9177

◀本社工場
〒373-0847
群馬県太田市西新町126-3
（太田西部工業団地）
TEL.0276−31−1201㈹
FAX.0276−31−1139

（社）日本ロボット工業会　会員
株式会社 古川製作所
事業内容　産業用ロボットシステムの開発、製造、販売
URL　http://www.furu1940.co.jp



ミレニアムベース 大好評
3階建て住宅まで可能な新構造
全強度鉄筋交差溶接ユニット
(財)日本建築センター Aタイプ評定取得
特　徴
○ 現地施工が簡単
○ 仕上がりのバラツキがない
○ 使用鉄材量が削減できる
三栄商事株式会社
〒370-1201・高崎市倉賀野町2453-8
TEL 027(347)1555(代表) FAX 027(347)4513
ISO9001:2008 認証取得
ISO14001:2004 認証取得
ISO9001認証工場
倉賀野工場、玉村工場
ISO14001認証工場
本社、倉賀野工場、玉村工場

北関東を代表する総合熱処理メーカー　アジア熱処理技研
群馬　栃木　茨城
きれいな工場から生まれる信頼の品質

■本社第一工場
〒372-0854
群馬県伊勢崎市飯島町540-2
TEL.0270-32-6321
FAX.0270-32-7607

■本社第二工場
〒372-0854
群馬県伊勢崎市飯島町540-18
TEL.0270-32-7100
FAX.0270-32-7102

■足利工場
（吉田熱処理工業）
〒326-0021
栃木県足利市山川町90-8
TEL.0284-41-7849

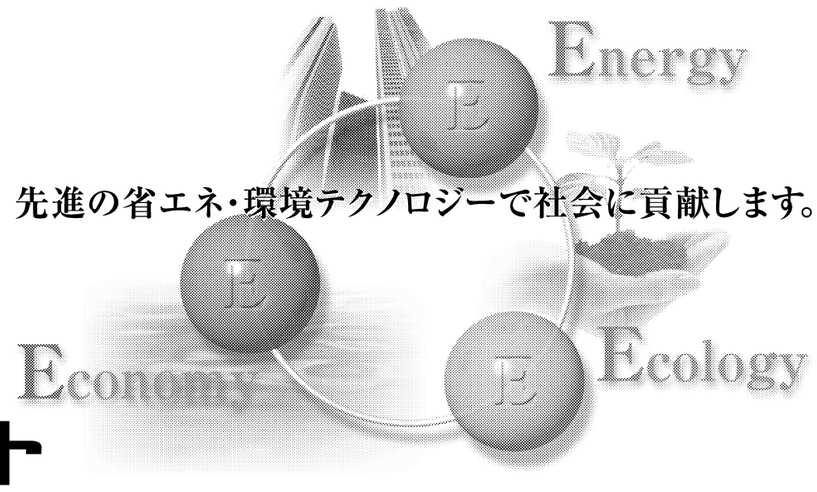
■栃木工場
〒322-0603
栃木県栃木市西方町本郷621-1
TEL.0282-92-8818
FAX.0282-92-8817

■茨城工場
〒319-0102
茨城県小美玉市西郷地60-1
TEL.0299-48-3020
FAX.0299-48-3045

《加工の種類》※浸炭 ※調質（焼入・焼戻し）※軟窒化 ※ホモ処理 ※焼準 ※焼鈍 ※各種真空処理 ※高周波焼入 ※曲がり矯正 ※ショットブラスト ※バレル研磨
・熱処理技能士　41名　・IT化による確かな物流・生産・品質管理
アジア熱処理技研株式会社

品質保証の国際標準規格
ISO9001 認証取得
Certificate Number:32621
環境マネジメントの国際標準規格
ISO14001 認証取得
Certificate Number:34835
認証取得事業所／環境事業部、大和環境技術研究所、大和分析センター

柿沼直文　個展
自然の光を求めて
2013.11.18mon-11.28thu　入場無料
会　場：株式会社ヤマト 本社1階ギャラリーホール
時　間：10:00〜17:00 ※11/23㈯・24日は開館
作家来場日：11/18㈪・21㈭・24日・25㈪・28㈭



先進の省エネ・環境テクノロジーで社会に貢献します。
株式会社ヤマト
群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL027-290-1800（代） FAX027-290-1896
ヤマトホームページ　www.yamato-se.co.jp/
支店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北　営業所／軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、川口、東松山、茨城、太田、新潟、長野、渋川、多摩、滋賀
附属施設／大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、教育センター